

調布市教育委員会 教育目標 ○ 命の大切さを自覚し、人の尊厳を重んじ、互いのよさや違いを認め合うことのできる力を身に付けた子ども ○ 豊かな心、健やかな体を基盤に、確かな学力に基づいた「生きる力」を身に付けた子ども ○ 自ら社会貢献しようとする意欲をはぐくみ、社会的に自立するための基礎となる力を身に付けた子ども	教育目標 1 自ら学び考え、 向上しようとする人 2 自他を思いやる、心豊かな人 3 心身を鍛え、 たくましく生きる人	目指す学校像 1 学ぶ楽しさを実感し、将来の自己実現に向けて互いに高め合える学校 2 生徒一人一人の個性を尊重し、高い人権感覚をもち、自他ともに大切にできる学校 3 保護者・地域とともに子どもを育て、困難や障害を克服する力を育める学校
--	---	---

予測困難で、不安定な国際状況に生きることになる生徒たちに、自ら考え、情報を精選し、判断し、困難を乗り越える力が必要な時代であることから、以下の力を育む。	あいさつの三中 一生懸命の三中 三中プライド
1 社会の変化に主体的に対応でき、 自らのキャリアを構築できる力の育成	2 生命をいつくしみ、人権尊重の理念のもと 多様性を認め合う人間関係形成力の育成
3 失敗や困難を乗り越え、社会を生き抜く力の育成	

<確かな学力> ①個別最適で協働的な学びを通して、生徒自ら主体的に学ぶ力を育成する。 ②生徒の視点に立った分かる授業の実践や習熟度・少人数指導を通して、基礎・基本の定着を図る。 ③ICT 機器を有効活用し、生徒の学習意欲を高める。 ④体験活動を重視し、探究的な課題解決学習の充実を図るとともに、何事にも乗り越える経験を積ませることで、社会を生き抜く力を育てる。 ⑤年2回の研究授業を実施し教員の授業力向上を図る。	<豊かな心> ①あらゆるいじめ・差別・虐待をなくすため、組織的・計画的・日常的に人権教育を推進する。 ②いのちの授業を実施するとともに全教育活動を通して、思いやりのある心や規範意識の醸成に努める。 ③毎月の心の健康観察や年 2 回の Q-U 調査を活用し、いじめ等の未然防止・早期発見に努める。 ④自分のよさ等を認識し、またあらゆる他者を価値ある存在として尊重し多様性を認め合う気持ちの醸成を図る。 ⑤挨拶を励行するとともに、人権に配慮した言動を教員が率先垂範する。	<健やかな体> ①教育環境の整備を進め、心身共に健康な生活を送ることができる安全で安心な学校づくりを目指す。 ②望ましい食習慣の形成を目指し、食育の推進を図る。特に、食物アレルギーの緊急対応訓練や研修を通して、危機管理体制を構築する。 ③学校行事や部活動での活動を通して、体力向上を図る。 ④安全指導、避難訓練、防災訓練等の計画的な実施を通して、自他の身を守ろうとする望ましい安全意識と危機の回避に資する適切な判断力・実践力の育成を図る。
<進路指導・キャリア教育> ①生徒会や学校行事などへの主体的な参画や運営をとおして社会の一員としての自覚を高め、自己実現が図れるようキャリア教育を推進する。 ②エナジードを活用し、3年間を通した体系的なキャリア教育を行い、「未来を生きる力」を育てる。 ③小学生の体験授業の実施やキャリア・パスポートの活用など、小中連携教育を推進していく。 ④朝読書の実施や学校図書館の活用、情報モラル教育の推進を図る。	<教育相談・特別支援教育> ①生徒一人一人の教育的なニーズに応じた特別支援教育の推進を図り、心の教育を充実させる。 ②二者及び三者面談や日常的なかかわりを通して、生徒理解に努めるとともに、教育相談委員会を中心として生徒に寄り添った指導体制や外部との連携を構築する。 ③不登校生徒と密に連絡をとり、個に応じた居場所づくりのサポートなど支援を充実させる。 ④ユニバーサルデザインの視点をもった教育を推進する。	<信頼される学校づくり> ①教育者として自らの使命と職責を自覚し、信頼される教師として、教育公務員としての使命を果たす。 ②予算の有効活用を行い、電子化、ペーパーレス化等による校務改善を推進する。 ③コミュニティ・スクールとして、地域とともに全教職員が一丸となり、誰からも信頼される「チーム三中」づくりを行う。 ④保護者や地域、外部機関と密に連携し、生徒一人一人の可能性を伸ばし、共に成長する姿勢を大切にする。

個性の尊重

受容

学校は、子どものためにある。自他ともに認め合い、高め合い、安全で安心できる居場所となり
生徒も教職員も生き生きと活動できる学校を目指して。

共感

肯定

— 子供の数は 命の数 笑顔の数 幸せの数 —